

令和 9 年度

産業医科大学病院 歯科医師臨床研修プログラム
(複合型臨床研修プログラム)

プログラムの名称

産業医科大学病院 歯科医師臨床研修プログラム(複合型臨床研修医プログラム)

1. 研修プログラムの名称

産業医科大学病院 歯科医師臨床研修プログラム(複合型臨床研修医プログラム)

2. 研修プログラムの特徴

本研修プログラムは当院と協力型研修施設の2か所での研修を行う複合型プログラムである。

当院では、主に口腔外科処置を通じて基本的な外科的手技を修得するとともに、総合病院の特色を活かし、チーム医療を経験することで、医療人としての姿勢や態度を養うことができる。

一方、協力型研修施設では、地域の歯科診療所での研修を通じ、頻度の高い歯科疾患に対する基本的な治療技術を身に付けることができる。また、地域医療現場での予防医学の重要性を理解し、患者との信頼関係の構築について学び、さらに、診療所スタッフとの連携を通して診療所運営の基礎について学ぶことが可能である。

2施設での経験を通して、多様な診療環境に柔軟に対応できる総合力と実践力を備えた歯科医師を養成する。

3. 研修プログラムの目標

本研修では、患者の視点に立ち、基本的な歯科診療に必要な知識・技術・態度を身に付けることを目指す。う蝕治療や歯周治療、補綴治療など頻度の高い歯科疾患に対応するための実践的な診療能力を修得するとともに、診査や診断から治療計画の立案、実施、振り返りまでの一連の流れを包括的に理解し学ぶ。また、口腔外科的処置を通じて専門的な知識と手技を修得する。

さらに、地域の歯科診療所での研修を通じて、かかりつけ歯科としての役割を理解する。

また、本研修を通じて、研修医が自己研鑽の意識を高め、生涯にわたり学び続ける姿勢を養うことを目標とする。症例検討会やフィードバックを通じて診療内容を客観的に振り返り、自己改善を図る能力を身につけると同時に、歯科医師としての倫理観や社会的責任を深く理解し、安全で質の高い医療を提供する態度を涵養する。

これらを総合的に学ぶことで、多様な診療環境に柔軟に対応できる歯科医師の育成を目標とする。

4. プログラム責任者

統括責任者	酒井 昭典(産業医科大学病院 病院長)
プログラム責任者	上田 大佑(歯科・口腔外科 助教)
副プログラム責任者	志渡澤 和佳(歯科・口腔外科 助教)

5. 施設概要

管理型研修施設 産業医科大学病院
 協力型(Ⅰ)研修施設 和泉二島予防歯科クリニック

管理型研修施設の概要

施設名称 産業医科大学病院
 所在地 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
 外来診療室数 8
 許可病床数 2

協力型(Ⅰ)研修施設の概要

施設名称 和泉二島予防歯科クリニック
 所在地 北九州市若松区二島3丁目1-40

6. 指導歯科医

秋森 俊行（准教授、日本口腔外科学会指導医・専門医）
 志渡澤 和佳（助教、日本口腔外科学会専門医）
 上田 大佑（助教、日本口腔外科学会認定医）

7. 指導体制

指導歯科医が直接研修医を指導する。
 または、指導歯科医のもと、上級歯科医が指導にあたる屋根瓦方式とする。

8. 研修スケジュール

	3 か月間	3 か月間	3 か月間	3 か月間
A	初期研修 (産業医大)	外来・病棟研修 (産業医大)	地域医療 協力型(Ⅰ)研修施設	外来・病棟研修 総括 (産業医大)
B		地域医療 協力型(Ⅰ)研修施設	外来・病棟研修 (産業医大)	

9. 研修内容の概要

A. 初期研修

基礎的な診療行為を理解し、臨床研修プログラムを遂行できるための準備期間とする。

実際に診療開始するまでの4月から6月の3か月間は、以下の内容について研修を行う。

- ・ 医療面接
- ・ 電子カルテの使用方法
- ・ 保険診療の概要
- ・ 紹介状の書き方
- ・ 処方や検査などのオーダー方法
- ・ バイタルサインの観察と評価法
- ・ 全身合併症への対応
- ・ 使用頻度の高い薬品の基礎知識
- ・ 清潔と不潔の概念

B. 外来研修と病棟研修

外来、病棟研修を通して、種々の歯科疾患の検査・診断・治療法とともに全身疾患について理解する。

- ・ う蝕、歯髄炎の検査・診断・治療法
- ・ 歯周疾患の検査・診断・治療法
- ・ 歯冠修復・欠損補綴における検査・診断・治療法
- ・ 炎症性疾患に対する連鎖・診断・治療法
- ・ 外傷に対する検査・診断・治療法
- ・ 口腔悪性腫瘍に対する検査・診断・治療法

歯科口腔外科外来においては、初診患者の対応を行い、病態に応じて口腔外科疾患の治療や、全身疾患を有する患者に対する歯科治療を実施する。

歯科口腔外科病棟では、入院患者や手術症例の管理を行い、病態の把握と適切な対応に努める。

協力型施設では、地域の歯科診療所の特性を活かし、う蝕処置、歯周治療、根管治療などの一般的歯科治療に加え、訪問診療を通じて地域に根ざした歯科医療を経験する。

C. 地域保健・医療についての研修

研修期間中に少なくとも1回は、近隣歯科医師会協力のもと、学校歯科検診あるいは産業歯科検診に参加し地域保健医療についての研修とする。

10. 研修内容の記録

研修歯科医は研修内容を記録し、目標症例数に到達しているか自己管理および評価を行う。
各自の研修内容の記録は研修修了認定の参考資料とする。

11. 研修内容の評価

指導歯科医は、研修の全期間を通じて研修歯科医の観察および指導を行い、研修記録を通じて目標達成状況を把握する。
評価は指導歯科医に加え、看護師や歯科衛生士などのコメディカルによる、いわゆる 360 度評価により行う。

12. 研修修了の認定

研修修了の判断は以下の基準で行う。

- ① 研修歯科医の自己評価
- ② 指導歯科医・メディカルスタッフによる評価
- ③ 症例数

などにより研修修了の判断を行う。

①および②の評価には「研修歯科医自己評価表ⅠⅡ」を使用する。

①では「研修歯科医自己評価表ⅠⅡ」の各項目をすべて記入していること、②では評価が「レベル 3」以上であること、③では必要症例数を達成し、既定のレポートを提出していることが修了判定を行う基準となる。

上記の基準をもとに、研修管理委員会において総合的な評価を行い、病院長へ報告する。

病院長は研修管理委員会の報告をうけ、研修修了を認めた場合、歯科臨床研修修了証を交付する。

13. 臨床研修修了後の進路

臨床研修プログラム修了後、本人希望があればさらに 1 年間研修を継続することが可能である。(歯科臨床研修プログラムアドバンスコース)

アドバンスコースでは 1 年間の研修で得た技術・知識をもとに口腔外科疾患を中心に更に頻度高く実践することが可能である。

また、アドバンスコース期間には 3 か月間の麻酔科研修があり、日本口腔外科学会専門医取得に必要な全身管理研修を行うことが可能である。そのほか、緩和ケア講習会や各種院内研修を受講し、より研鑽を積むことができる。

アドバンスコース修了後は専修医として日本口腔外科学会認定医・専門医取得を目指すことや、大学院へ進学し研学位取得を目指すことが可能である。

14. 募集概要および研修医の処遇

- 募集定員

研修歯科医 3 名

- 応募方法

応募資格: 令和 9 年 3 月に歯科医師免許取得見込の者、または歯科医師免許取得済みで歯科医師臨床研修を修了していない者

試験内容: 面接、小論文(出願時に提出)

出願書類: 卒業(見込)証明書、成績証明書、履歴書(当院規定)

採用方式: 歯科医師臨床研修マッチングシステムによる

- 待遇

身分: 産業医科大学病院 歯科・口腔外科 常勤職員(研修歯科医)

給与: 月額 275,000 円(研修手当含む)

勤務時間: 8 時 30 分～17 時 30 分(休憩 1 時間を含む、変形労働制)

宿日直手当: 10,000 円/回(研修歯科医は日直勤務が月 1 回あり、当直無し)

賞与: なし

時間外勤務手当: 実績時間に応じて支給(研修歯科医は原則時間外勤務無し)

社会保険: 私学共済保険、私学共済年金、雇用保険、労災保険

通勤手当、住宅手当: 院内規定により支給

休日: 土曜・日曜、祝日、開学記念日、年末年始

有給休暇: あり(採用から 6 か月後に 10 日の年次有給休暇付与)、リフレッシュ休暇 3 日

産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、特別休暇(結婚・忌引)

学会参加: 可能(規定により参加費支給あり)

- 健康管理

年 1 回健康診断、各種ワクチン接種

- その他

歯科医師賠償責任保険加入: 個人加入必須

アルバイトは研修に専念するため禁止

- 研修プログラムに関する問い合わせ先・資料請求先

〒807-8556 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

産業医科大学病院 歯科・口腔外科 准教授 秋森 俊行

電話番号: 093-603-1611(代表)、FAX: 093-603-4639

E-mail: oralsurgery@mbox.clnc.uoeh-u.ac.jp

ホームページ: <https://www.uoeh-u.ac.jp/>